

〔一般部門〕

選者 篠弘 伊藤一彦 今野寿美

文部科学大臣賞

母さんのいてへん夜の父さんはわらわんのやでと娘は笑う

大阪府堺市南区 丸野 幸子

方言を巧みに取り入れて歌った一首である。「いてへん」「のやで」の語が生きて明るくユーモアのある歌になった。結句の「娘は笑う」のこの笑いには両親への愛情が感じられて読者も楽しい。
(選評／伊藤一彦)

産経新聞社賞

いつしかに伝言板の消えし駅いまま目をやる小さな空間

愛知県名古屋市長東区 羽生 由紀子

堺市長賞

膝を折る駱駝らくた立つ時「つかまれ」とベルベル人が日本語に言ふ

埼玉県越谷市 高橋 京子

〔選者賞〕

篠弘 選

中空に出初の放水いきほふを施設の窓より母と眺めぬ

山形県上市市 山川 ひろみ

伊藤一彦 選

腹立ちて写真破れば君よりもわたしの笑顔が斜めに裂ける

大阪府岸和田市 佐々木 佳容子

今野寿美 選

結婚は少し誤解がありましたして離婚は誤解の理解であります

福岡県新宮町 岸原 修

大阪府知事賞

晶の字をもらいし吾子は恋もせず歌も作らずジヨギング励む

大阪府河内長野市 西本 照代

「河野裕子短歌賞」姉妹賞

花終へし凌霄花のうぜんかづらの天辺に赤とんぼ止まる空引き寄せて

東京都府中市 広田 滯子

京都府知事賞

牛飼ひが山から村に導きし湧水を乳牛千頭が飲む

北海道札幌市東区 藤林 正則

「山川登美子記念短歌大会」姉妹賞

ごめんねも言わせてくれない言ひ訳も聞いてくれない大きな背中

北海道札幌市南区 後藤 明美

EH賞

遠距離の恋かなしむに満月を八時に見よと速達の来る

神奈川県逗子市 加藤 和子

「城崎短歌コンクール」姉妹賞

楽しいの？私が私に問いかけるジヨッキ片手の飲み会さなか

兵庫県尼崎市 頭本 信代

「三輪山まほろば短歌賞」姉妹賞

苛立ちて子のあけし穴のある壁に今年は何犬の暦をかける

山形県酒田市 村上 秀夫

関西テレビ放送賞

君の横並べないまま左側一列にのるエスカレーター

滋賀県大津市 山本 弘美

「角川全国短歌大賞」姉妹賞

寄り道のカフェ一杯で香り立つ女になつて ただいまあなた

大阪府吹田市 東野 登美子

ラジオ大阪賞

ゆらゆらと落つる茜が峠路の冬のさくらの幹を染めたり

兵庫県美方郡新温泉町 安田 多加子